

防災減災学術連携委員会（第 25 期・第 12 回）

議事要旨

日 時：令和 5 年 4 月 25 日（木）9:00～10:00

会 場：Zoom ミーティングを用いたオンライン会議

出席者： 米田雅子（委員長）、安村誠司（副委員長）、田村和夫（幹事）、永野正行（幹事）、今村文彦、畝本恭子、大西隆、齊藤大樹、鈴木康弘、高橋良和、寶馨、竹内徹、中村尚、平田直、森口祐一、山本あい子、山本佳世子、吉原直樹、若尾政希（19 名）

欠席者： 菊地優、小池俊雄、目黒公郎（3 名）

事務局： 齊藤美穂、稲元祥吾

議 題：

- 1) 前回議事要旨案の確認
- 2) 第 15 回防災学術連携シンポジウム「気候変動がもたらす災害対策・防災研究の新展開」の開催（報告）
- 3) 関東大震災 100 年シンポジウム開催計画（報告）
- 4) トルコ・マラッシュ震災に関する緊急報告会について（報告）
- 5) 2023 年度防災推進国民大会公募内容について（報告）
- 6) 第 5 回「防災に関する日本学術会議・学協会・府省庁の連絡会」のテーマについて
- 7) その他

配付資料：

資料 0：防災減災学術連携委員会（第 25 期・第 12 回）議事次第

資料 1：防災減災学術連携委員会（第 25 期・第 11 回）議事要旨（案）

資料 2：第 15 回防災学術連携シンポジウム「気候変動がもたらす災害対策・防災研究の新展開」の事後報告

資料 3：学術フォーラム・第 16 回防災学術連携シンポジウム
「関東大震災 100 年と防災減災科学」ちらし

資料 4：トルコ・マラッシュ震災に関する緊急報告会報告

資料5：2023年度防災推進国民大会公募資料（抜粋）

資料6：第5回「防災に関する日本学術会議・学協会・府省庁の連絡会」テーマ案

議 事：

1) 前回議事要旨案の確認

- ・ 田村幹事より、資料1を用いて、第11回委員会の議事要旨案の説明があり、異議なく承認された。

2) 第15回防災学術連携シンポジウム「気候変動がもたらす災害対策・防災研究の新展開」の開催について

- ・ 田村幹事より、資料2を用いて、標記シンポジウムが1,200名を超える多数の参加者の下で開催され、多数の質疑応答もあり活発であったことの報告があった。

3) 関東大震災100年シンポジウム開催計画について

- ・ 永野幹事より、資料3を用いて、標記シンポジウムの開催計画の説明があった。
- ・ 本シンポジウムは学術フォーラムとして開催され、Zoom ウェビナーによるオンライン併用のハイブリッド開催の予定であるが、参加者が1,000名を超える場合にはYouTubeでの配信も併用する予定としている。
- ・ 米田委員長、山本佳世子委員、平田委員より、本シンポジウムの企画に関する補足説明があった。

4) トルコ・マラッシュ震災に関する緊急報告会について

- ・ 平田委員より、資料4を用いて、トルコ・マラッシュ震災に関する緊急報告会（防災学術連携体主催）の報告があった。
- ・ 本報告会には、ウェビナーへの参加者とYouTubeのアクセス数を合わせて約2,400名に達した。

5) 2023年度防災推進国民大会公募内容について

- ・ 田村幹事より、資料5を用いて、9月17日、18日に開催される2023年度防災推進国民大会公募内容の説明があった。
- ・ 防災学術連携体でも内容を検討した上で、主催団体を「防災学術連携体＋日本学術会議（予定）」として5月28日までに出席申込みする予定。
- ・ 今後、本委員会委員には、メールにて審議いただきながら進めていく。

6) 第5回「防災に関する日本学術会議・学協会・府省庁の連絡会」のテーマについて

- ・ 米田委員長、安村副委員長、田村幹事より、資料6を用いて、第5回「防災に関する日本学術会議・学協会・府省庁の連絡会」のテーマとして、以下の3つの案の説明があった。

(案1) 防災・減災を担う人材をどう育成するか

(案2) 巨大災害にどう備えるか ―関東大震災の経験を踏まえて―

(案3) 防災に関する国際的活動に向けて

- ・ 本案に対して各委員により意見交換がなされた。主な意見として以下が出された。
 - ・ いずれも重要なテーマだが、特に人材育成は重要
 - ・ 多様な分野や対象において人材育成は重要（多数の委員より意見あり）
 - ・ 専門家の育成だけでなくコミュニティにおける活動も重要
 - ・ 人材育成と国際研修を合わせたテーマとする案もある
 - ・ 関東大震災 100 年と人材育成をリンクさせるテーマ設定もある
 - ・ 人材インフラの支援として情報インフラを扱うのも良い
- ・ 以上の議論を基に（案1）を基本とし、（案3）の要素も加味した案を幹事団にてつくり、内閣府と打ち合わせを行った上で、テーマ案を5月中には決めることとする。
- ・ 本委員会委員にはメールにて連絡し、意見を伺うこととする。

7) その他

- ・ 次回委員会は8月に開催する「防災に関する日本学術会議・学協会・府省庁の連絡会」とする予定。
- ・ 上記の開催日程は2つの候補日（8月1日か8月8日）の内、府省庁の都合により決定する。
- ・ 必要に応じてメール審議を行う。

以上